

題「雲」

鴨田 昭紀 選

特選

許し合う日はきつと来るちぎれ雲

広島市 高東八千代

【評】誤解や意見の食い違いなどから溝が出来てしまったのだろうか。人間関係の複雑さをいろいろ想像させる。

平凡に生きて時々雲を見る

広島市 羽城 裕子

【評】平凡な生き方こそが最も難しく、そして一番幸せなのではないだろうか。平易な句ながら人生の機微を感じさせる。

休止符をどこで打とうか流れ雲

広島市 大杉 卓雄

【評】順風満帆な時こそ一度は立ち止まり振り返ってみることも必要。そして反省も踏まえて再出発することだ。

ちぎれ雲独り立ちする時がきた

福山市 早川 迷子

【評】 今までは親の脛をかじっていたが、何時かは独り立ちをしなければいけない。一人前への自覚と決断に拍手。

青空へいたずら書きの雲ひとつ

広島市 近末 夕子

【評】 青空をキャンパスに雲がいたずら書きをしているという。ほのぼのとしたメルヘンの世界が目に見えぬ。

入
選

流れ雲もう生家には帰らない

江田島市 住田 照水

巢立ちの子遠く見ている千切れ雲

福山市 村田 幸夫

風まかせ雲に境界線はない

広島市 福田 淳子

淋しくて雲を相手に独り言

広島市 川上 咲良

富士登頂雲が称える喜寿の脚

呉市 熊川 勝彦

予備校の窓にはすでに鰯雲

広島市 豊田 芳香

真つ白な雲は戦を許さない

三原市 笹重 耕三

雲行きがあやしい今は語るまい

庄原市 荒木美智子

物干しが雲の機嫌を聞いている

東広島市 岡田千賀子

広島をヒロシマにしたきのこ雲

広島市 吉村 充

引き際は風にまかせるちぎれ雲

広島市 常國 喜好

雨雲の行方気になる初デート

尾道市 東 一夫

雲隠れすれど尻尾が見えている

尾道市 川口 靖文

青春の恋は浮雲流れ雲

広島市 森崎八重子

気分屋の雲のかたちは君みたい

県立呉宮原高等学校二年 橋本 愛奈

雲上の人と承知も好きは好き

廿日市市 藤井 紫乃

雲の間に光一筋明日が見え

大竹市 浅田 華蓮

仲間からとり残された雲ひとつ

広島市 谷本 友

雨雲だててる坊主作らなきや

県立呉宮原高等学校二年 佐々木柚奈

恋をした少女ふわふわ雲に乗る

広島市 周藤 悠奈